平成29年度第3学年　学年通信
『自立と協調～そして感謝と思いやり』
Boys and girls , be
Ambitious
第48号（通算136号）
2月　2日

私立高校の受験結果が気になる日々・・・・

今週、前半は暁（3年制）、メリノールと受験が続きましたが、週の後半は発表が続きます。一喜一憂する日々がしばらく続きますが、見事合格した人は、あまりはしゃぎすぎないようにしましょう。まわりには、残念ながら合格をもらえなかった人もいるかもしれません。そういう時、そんな人にかける言葉は難しく、何と言っていいかわからないかもしれませんが、普段どうりに接するのが一番です（とは言え、その「普段どうり」が難しいのですが）。1月30日（いろいろ発表前）のコメントから。

●もうすぐ受験です。新年が始まったと思ったらもう1か月！早い！充実しているってことなのかな。

●今日は暁の入試がありました。人生初の入試だったので緊張しました。数学が難しく、他はまあまあでした。ふだんどうりの力を出せたと思います。あとはもう結果しだいです。

●数学難しかった～。時間が足りなさすぎた。終わっちゃたから、あとは合否を待つだけ・・・。合格してますように。

●暁の入試でした。夏休みの自由研究でやった果物のDNAをとるやつが問題で出ていた。やっててよかった！と思いました。

●緊張はあまりしなかったけど、数学が難しかった。（会場の教室は）50人中49人が西朝明で、1人だけ他校（の生徒）だった。なんかかわいそう・・・。

最後のコメントみたいなことも某高校であったみたいです。これ、逆だったら緊張したかも、あるいは不安になったりしたかもしれませんね。休み時間に同じ学校の生徒のところに行って少しは話ができるでしょうが・・・。

合格をもらえなかった人、その中でも県立のすべり止めのつもりだったのに一つも受からなかった人は、今、とても落ち込んでいるかと思います。自分に自信をなくしたり、ものすごく不安になっているかもしれません。「気持ちを切り替えて」と言われても、そんな簡単に切り替えることはできないかもしれません。しかし、それでも、次に向って、立ち直っていかなければなりません。どんなに強い暴風雨が吹き荒れても、どんなに激しく雪が降り積もっても、その後には、必ず青空が戻ってきます。そして、太陽が私たちと大地を照らし、温めてくれます。

一晩思い切り落ち込んだら（？）、翌日からまたいつもの自分に戻り、県立高校の受検に備えましょう。そして、そんなふうに頑張っている仲間をみんなで支え合い、最後にはみんなが笑顔で4月を迎えられるようにしましょう。

人は挫折をバネにして、一つずつ成長していく

「進路すごろく」、あちこちで喚声と笑顔が！

この学年のGWTの定番となっている「すごろく」。今回は「受験シーズン進路バージョン」で実施しました。ところどころに「合格しなかった仲間にどんな言葉をかける？」みないな質問もはさんであったりして、一瞬とまどったりもしたでしょうが、そこはみんな機転をきかせて乗り切り、受験の合間に楽しいひと時をすごすことができたかと思います（大いに盛り上がった班もけっこうありました）。こうして、また一つ、班員の交流、仲間との絆を深めることができました。